

# CONFERENCE PRESS

Variety of information produced by the press will open the door to a valuable life in Japan.

TAKE FREE!

2021年版

## 変わりゆく株主総会の在り方

株主総会オンライン化の普及

2021 WINTER  
VOL.35



株式会社ウィルスが提供する本人確認システム「WILLs.Vote」を使用した株主総会PC画面イメージ

### ●株主総会の実施形態

| リアル会場<br>従来の<br>リアル株主総会                                         | リアル会場 + オンライン<br>ハイブリッド型<br>バーチャル株主総会                                    | 完全オンライン<br>バーチャルオンリー<br>株主総会                                   |
|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 取締役や株主等が一堂に会する物理的な場所において開催される株主総会をいう。インターネット等で事前に議決権行使を行うことも含む。 | <div>参加型</div> 株主総会への法律上の「出席」を伴わずにインターネット等の手段を用いて、審議等を確認・傍観することが出来る株主総会。 | <div>出席型</div> インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」を正式に行うことができる株主総会。 |

本号では多様化した株主総会について解説しながら、TKPが提供するサポートサービスについてご紹介していきます。

株主総会の新潮流になるか？  
株主・投資家との新しい対話の在り方  
二〇二一年六月九日、「産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律」が成立。上場企業が対象で、原則として定款を変更することが条件となりますが、暫定的に（みなし定款）経済産業大臣及び法務大臣の確認を受けることによって、オンライン開催の株主総会「場所の定めのない株主総会（バーチャルオンリー株主総会）」の開催が正式に可能になりました。

これまで国内でも新型コロナウイルス感染症拡大防止や国が推進する「働き方改革」の観点から、リアル株主総会をオンライン開催へと移行する動きは徐々に広がっていましたが、従来の会社法では「バーチャルオンリー株主総会」が想定されておらず、あくまでリアル会場と併用した「ハイブリッド型バーチャル株主総会」での実施が主流でした。そのため今回の改正を受け、二〇二一年以降のバーチャルオンリー株主総会の実施に向けて、既にいくつかの企業では今年の株主総会で定款変更を諮っています。しかし一部の海外投資家は、経営陣と株主の有意義な交流を妨げる可能性があるとしてバーチャルオンリー株主総会の導入に懸念を示すなど、今後も国内企業の動向がどう傾くのか、注視されている状況です。

参考：経済産業省 ニュースリリース「産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律」の一部が施行されました  
<https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210616004/20210616004.html>

### 株主総会のオンライン開催・リアル会場におすすめ施設「ウェビナーセンター」

法人向け次世代ICTソリューション NURO Biz 続々導入！



**TKP** TKP新橋  
カンファレンスセンター

東京都千代田区幸町1-3-1  
幸ビルディング 12階

ウェビナーセンター  
NURO Biz



**TKP** TKP東京駅セントラル  
カンファレンスセンター

東京都中央区八重洲1-8-16  
新橋町ビル 11階

ウェビナーセンター  
NURO Biz



**TKP** TKP新宿西口  
カンファレンスセンター

東京都新宿区西新宿1-10-1  
ヨドバシ新宿西口駅前ビル 9階

ウェビナーセンター NURO Biz  
配信専用スタジオ併設

新サービス登場

ハイブリッド型  
バーチャル株主総会は  
TKPにお任せください！

オンライン配信にも最適なTKP会場  
「ウェビナーセンター」は全国展開中！  
提携スタジオも多数ございます

**TKP ウェビナー**  
Powered by zoom

Zoomアカウント不要  
手軽にウェビナー開催が可能！

TKPはZoom ISVパートナー契約を締結。  
より充実したオンラインサービスを提供いたします！

**TKP** テレビ会議ネット  
www.tkptv.net





# 株主総会はこのコロナ禍でどう変化したのか。 また2022年以降はどう変容する？



コロナ禍でも株主総会は中止できないことから、企業と株主・投資家の建設的な対話を促すための環境整備という

視点で2020年より始まったバーチャル株主総会。感染拡大防止策の一助になると期待された反面、

一部の投資家からは「質問や動議などの株主権利を損なう恐れがある」として懸念を示され課題も残ります。

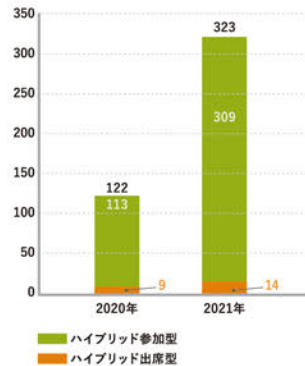
今後こういった形で企業と株主の対話を促し、株主総会を活性化させるべきでしょうか？ 古くからあるテーマが再注目されています。

## ● 株主総会の実施形態 2020年・2021年

|                | 会社法上の<br>出席扱い | 実施形態             | 2020年<br>6月実施 | 2021年<br>6月実施 | 増減   |
|----------------|---------------|------------------|---------------|---------------|------|
| ハイブリッド<br>参加型  | ×             | リアル会場            | 113社          | 309社          | +196 |
| ハイブリッド<br>出席型  | ○             | リアル会場<br>+ オンライン | 9社            | 14社           | +5   |
| バーチャル<br>オンリー型 | ○             | 完全<br>オンライン      | 0社            | 0社※           | +0   |

出所：三菱東京UFJ信託銀行(株)「証券代行情報 No.200」2021年7月15日

※ 2021年8月26日に日本初「場所の定めのない株主総会」方式による臨時株主総会をユーグレナが実施



バーチャル株主総会は、移動コストが高く国土が広い諸外国で急激に普及しています。今後の日本でも、その需要は高まると考えられるでしょう。

これはもちろん株主への新型コロナウイルス感染症対策として導入を急いだ影響も大きいですが、もとよりBCP対応として検討していた企業が実施に踏み切ったことが考えられます。インターネット通信環境への信頼度も向上している今、遠隔地の株主も平等に参加できる公平性や、リアル会場での開催コストの削減、人材不足にも有効で、BCP対応だけでなくメリットも多いことに多くの企業は期待と可能性を感じているのではないのでしょうか。

二〇二一年の実施状況から見るバーチャル株主総会への期待度  
バーチャル株主総会の実施社数の推移  
それでは実際にバーチャル株主総会に取り組む企業数は、どの程度でしょうか。今年七月に三菱UFJ信託銀行が発表した調査報告によると、昨年百二十二社だった実施社数は、今年になって約二・六倍の三百二十三社にまで増加しています。

現在株主総会の実施形態は大きく四種類に分けられます。それぞれ特徴とメリット・デメリットがありますので(右図参照)、開催目的や企業規模、自社の受け入れ環境などに鑑み、最適な形態を選択しましょう。各形態を採用する企業のタイプも合わせてご参考にご覧ください。

これまで一般的なリアル株主総会を開催していたところを、突然バーチャルオンリー株主総会に切り替えるとなると大きな舵取りが必要です。多くの企業は、リアル会場とオンラインを併用する「ハイブリッド型」バーチャル株主総会を実施し、全体像を掴んだ後にバーチャルオンリー株主総会へと切り替えるなど、段階を踏んで導入する形が多いようです。ただ

## 株主総会・四種類の実施形態



ティーケーピーは全ての株主総会を完全サポートいたします！

| リアル株主総会                                         | ハイブリッド型<br>バーチャル株主総会                                                      | バーチャル<br>オンリー 株主総会                                                                                                          |
|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| これまで大多数で行われていた一般的な開催方法                          | 参加型<br>リアル会場の開催に加え、株主がインターネット等の手段を用いても出席できる形態<br>視聴のみの「参加型」               | 出席型<br>リアル会場の開催に加え、株主がインターネット等の手段を用いても出席できる形態<br>議決権行使OK「出席型」                                                               |
| 物理的に存在する会場に取締役・監査役等と株主が一堂に会する形態                 | 比較的少ないコスト・負担で運営が可能<br>出席型に比べ敷居が低い<br>当日の議決権行使ができない                        | 議決権・質問権行使ができる<br>インターネット上の動議提出を制限することが可能<br>通信障害のリスクは増大                                                                     |
| ✓ 昨今の状況下から現地開催が不安視<br>✓ 遠隔地在住の株主にとっては移動コストが発生する | 会場 ○ 役員や株主が集う大規模会場を準備<br>配信 ○ 企業により配信の有無は異なる<br>コメント -<br>質問動議 ○<br>議決権 ○ | 会場 ○ 役員や一部株主が集う開催会場を準備<br>配信 ○ 希望株主はライブ配信が視聴可能<br>質問 ○ オンライン上での質問やコメント可能<br>動議 △ 企業により制限範囲は異なる<br>議決権 ○ 本人確認システムにより議決権行使が可能 |

## ● 各形態を採用する企業のタイプ(下図参照)

### ハイブリッド型バーチャル株主総会 - 参加型

- 株主総会の様子を広く傍聴して欲しい ・個人株主の数が多い
- ハイブリッド出席型での実施を検討している ・感染症対策で会場を縮小したい

### ハイブリッド型バーチャル株主総会 - 出席型

- 特定の大株主が不在で、定足数に不安がある
- バーチャルオンリー型での実施を検討している
- リアル会場とオンライン出席株主の権利行使を担保する

### バーチャルオンリー株主総会

- 委任状が十分に確保できる
- 株主構成における機関投資家の比率が少ない
- 決議に必要な賛成票を十二分に確保できる



New!  
新機能

株式会社ウィルズの本人確認システム「WILLS Vote<sup>TM</sup>」を採用し、堅固なシステム体制を確保。株主総会へのリモート「出席」が可能になりました！

※1.プレミアム優待倶楽部の一機能。ブロックチェーン技術を活用した電子議決権行使プラットフォーム。株式会社ウィルズが特許権を有する仕組みの総称。  
(特許番号：第6325152号、2017年5月31日付特許取得)

技術的な問題点や法的リスク、進行シナリオ作成に社内調整など、内外での課題が山積するなか、内製だけでは「うまくできる自信がない」と感じてしまうかもしれません。

そういった時には、バーチャル株主総会を強力にサポートするTKPへぜひご相談ください。リアル株主総会からバーチャルオンリー株主総会まで、豊富な実績から全ての形態でお客様をサポートいたします。

不安・疑問点はこうしたら良い？  
TKPウェビナーサポートで解決

いざバーチャル株主総会を実施する、となるとまず初めにいくつかの不安や疑問点を抱えてしまうのではないのでしょうか。「感染症対策のためにバーチャル株主総会を実施してみたいが、法的リスクは問題ないのだろうか？」「バーチャル株主総会を実施したら、当日の進行シナリオや株主への招集通知など、どうすれば良い？」「バーチャルオンリー株主総会に移行したいが、参加株主のセキュリティの確保はどう整備できるのか？」

開催への不安や疑問は、ぜひTKPのスタッフにご相談ください。TKPではこれまで実施してきた株主総会の知見を元に、リアル株主総会以外もバーチャル株主総会の参加型、出席型、オンリー型全ての支援が可能です。

もちろんシステムのご提案だけでなく、経済産業省の実務ガイドラインに則した最適なシナリオ作成もサポートいたします。リアル株主総会の実施スケジュールに比べ、バーチャル株主総会の準備期間は一か月程前倒ししての手がおすすです。実施までの各工程で、適切な取り組みをご案内しながら当日の株主総会実施の成功までご支援させていただきます。

またバーチャル株主総会で議決権行使するには本人確認が必要です。情報セキュリティ対策としてTKPは本人認証基盤を持つ株式会社ウィルズと提携。会場設備・撮影技術からシステム提供にデータ分析まで、ハイブリッド型バーチャル株主総会の開催に終始一貫したサポート体制のご提供が可能になりました。

不安・疑問点はこうしたら良い？  
TKPウェビナーサポートで解決

いざバーチャル株主総会を実施する、となるとまず初めにいくつかの不安や疑問点を抱えてしまうのではないのでしょうか。「感染症対策のためにバーチャル株主総会を実施してみたいが、法的リスクは問題ないのだろうか？」「バーチャル株主総会を実施したら、当日の進行シナリオや株主への招集通知など、どうすれば良い？」「バーチャルオンリー株主総会に移行したいが、参加株主のセキュリティの確保はどう整備できるのか？」

開催への不安や疑問は、ぜひTKPのスタッフにご相談ください。TKPではこれまで実施してきた株主総会の知見を元に、リアル株主総会以外もバーチャル株主総会の参加型、出席型、オンリー型全ての支援が可能です。

もちろんシステムのご提案だけでなく、経済産業省の実務ガイドラインに則した最適なシナリオ作成もサポートいたします。リアル株主総会の実施スケジュールに比べ、バーチャル株主総会の準備期間は一か月程前倒ししての手がおすすです。実施までの各工程で、適切な取り組みをご案内しながら当日の株主総会実施の成功までご支援させていただきます。

またバーチャル株主総会で議決権行使するには本人確認が必要です。情報セキュリティ対策としてTKPは本人認証基盤を持つ株式会社ウィルズと提携。会場設備・撮影技術からシステム提供にデータ分析まで、ハイブリッド型バーチャル株主総会の開催に終始一貫したサポート体制のご提供が可能になりました。



配信イメージ

TKPでは「安心・安全」を最重要・最優先とした新型コロナウイルスのガイドラインを策定し、それを基にした対策を各施設で実施しています。安心してお過ごしいただける空間づくりのため、お客様のご理解とご協力をお願いいたします。



体調不良の際は  
ご来場をお控えください



手指消毒にご協力ください



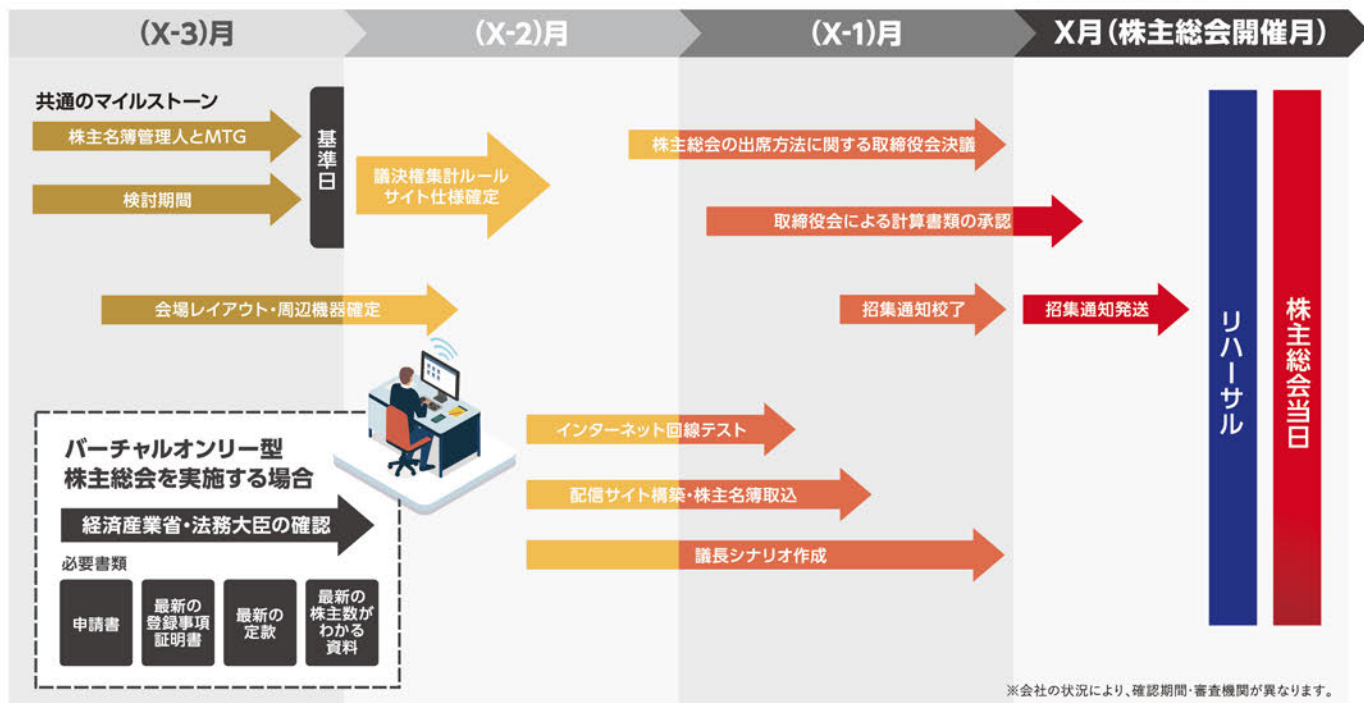
顔エチケットにご協力ください

TKPのコロナウイルス対策  
詳しくは  
www.tkp.jp/measures\_virus/





●株主総会開催までのスケジュール例



準備期間中の事務局代行も請負います！  
当日の開催・現地運営までまるとTKPが可能です。

業務効率化や高品質化、コスト削減。  
TKPコミュニケーションズは、業務委託を通じ  
お客様の問題解決と成長を強力にサポートいたします。

TKP コミュニケーションズ

## 株式会社ウィルズと提携 新サービス「本人確認システム」

二〇二〇年から導入の新サービス

これまでTKPでは、バーチャル株主総会においては視聴だけが可能な、ハイブリッド型バーチャル株主総会(参加型)のご提供のみでした。株式会社ウィルズ(以下ウィルズ)と提携し、同社の本人確認システム「Wills Vote」(電子議決権行使プラットフォーム)を導入することで、オンライン上でリアルタイムの議決権の行使、質疑応答、閲覧が可能となるハイブリッド型バーチャル株主総会(出席型)のご提供が実現。これによりTKPでは株主総会すべての形態でサポートが可能になりました。ウィルズの本人確認システムは、経済産業省が主導してきた「株主総会プロセスの電子化」プロジェクト当初より、招集手続、議決権行使手続の電子化に加え、株主総会自体の電子化(バーチャル株主総会)を構想し、開発されています。

今回の提携によりTKPの会場手配・撮影技術と、ウィルズの本人確認システムとが結合することで、より安定的かつ実践的なバーチャル株主総会を提供し、お客様の成功体験へ細やかにサポートしてまいります。

### 株式会社ウィルズとの 業務提携により 追加されたサービス

- 安定した動画配信プラットフォーム
- 電子議決権集計
- 当日会場での議決権集計
- シナリオ・招集通知作成の助言
- 株主への通信デバイスの貸出
- 通信障害対応マニュアルの作成
- 問合せ用コールセンターの設置
- バーチャル株主総会後のデータ分析

「非日常」での時間が  
新しいアイデアや  
集中力につながる

研修・合宿  
温泉宿  
懐石料理  
会議・ミーティング

春の社内研修・階層別研修に  
TKPの宿泊研修施設

熱海市街を見下ろす高台で  
ゆったり寛ぐ和モダンのホテル  
ISHINOYA 熱海

緑豊かな2,000坪の庭を歩く  
数寄屋造りの温泉宿  
石のや 伊豆長岡

宿泊研修施設  
レフトーレ

- ◆ 熱海小島
- ◆ 熱海橋山
- ◆ 箱根強羅
- ◆ 湯河原
- ◆ 葉山 湘南国際村

ご利用用途・人数・ご予算に合わせ  
最適な宿泊施設をご紹介します。

TKP TKP HOTEL & RESORT

コロナ対策  
実施中

「間杯」  
今は  
楽しもう!

New Nomal Now!

忘新年会!

TKPは安心と安全を  
提供しています!

TKP



バーチャル株主総会に係る提供サービスイメージ

TKP × WILLS

期待される導入メリット

- ✓ 遠方株主による出席機会の拡大
- ✓ 質疑等を踏まえた議決権行使が可能
- ✓ 株主総会の透明性の向上
- ✓ 情報開示の充実

### バーチャル株主総会 (出席型)の特徴

- ① 出席方法の多様化による株主重視の姿勢を訴求できる
- ① 個人株主の議決権行使の活性化につながる可能性
- ① 質問形態が広がることにより株主総会での議論が深まる

※1.プレミアム優待倶楽部の一機能。ブロックチェーン技術を活用した電子議決権行使プラットフォーム。  
株式会社ウィルズが特許権を有する仕組みの総称。(特許番号:第6325152号。2017年5月31日付特許取得)

※本誌掲載の記事は、2021年11月11日時点の情報を元に制作しています。最新の情報につきましては経済産業省公式サイトをご確認ください。  
参考:経済産業省 ニュースリリース「ハイブリッド型バーチャル株主総会の実施ガイド」を策定しました <https://www.meti.go.jp/press/2019/02/20200226001/20200226001.html>

## 株主管理のDX化をリードする プレミアム優待倶楽部

Premium  
プレミアム優待倶楽部

WILLS

株式会社ウィルズ  
03-6435-8151 (代表)  
<https://www.wills-net.co.jp/>

そのほか疑問点など、ぜひご相談ください

株主総会について詳しくは「テレビ会議ネット」へ



tkptv.net

WEB配信チームスタッフが  
日常から役立つ知識まで伝えます。 @TkpWeb



- バーチャル株主総会・よくあるご質問
- 準備にかかる期間
- Q 株主総会(バーチャル株主総会)を実施するには、どのくらい前から準備を進めればよいのか?
- A. 企業ごとに多少の差はありますが、通常の総会開催月の約三か月前からの準備が主流です。バーチャル株主総会の場合は、余裕を持って一か月追加するのが良いでしょう。
- Q 当日の議決権行使・実施の決定
- A. 事前に議決権行使をした株主が、当日に出席し、議決権行使をしようとした場合、その投票が有効になるのか?
- A. 既に事前に議決権行使をしている株主が当日出席した場合、事前投票を無効にし、当日投票を優先する必要があります。そのため、有効とされるのは当日の投票です。
- Q バーチャル株主総会の実施には、株主への同意などは必要なのか?
- A. リアル株主総会に加え追加の出席手段とされる場合には、実施にあたり株主の同意や株主総会の承認は不要です。ただ取締役会決議において、バーチャル出席の方法に関して決定する必要があります。

いつでも、どこでも、すべての働く人たちに。  
Anytime, Anywhere, for All workers

TKP 株式会社ティーケーピー

TEL: 03-6697-3164

掲載内容に関するお問合せは 平日 9:00-18:00